

放射線に関わるリスクコミュニケーション活動状況

概要

- 環境省では、環境中に放出された放射性物質対策を進めると同時に、放射線や地域の環境再生への取り組みなどについて、わかりやすい情報を提供しています
- 放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター、環境再生プラザを主な拠点として活動しています

これまでの活動状況

2月29日時点

項目	2023年度 2月分	2023年度 累計	
■放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター (単位：回)			
・自治体職員や相談員等の活動の支援	研修会	0	15
	専門家派遣	0	23
・住民の放射線に関する理解醸成の支援	住民セミナー	10	164
	車座意見交換会	1	14
■環境再生プラザ (単位：回)			
・専門家派遣	自治体など	0	24
	小中学校など	4	45
	その他	0	12
・移動展示	1 (1日)	41 (43日)	
■その他 (WBC単位：日) (ガンマカメラ単位：台日)			
・内部被ばく検査 (WBC)の支援	3	84	
・ガンマカメラ活用 リスクコミュニケーション支援	0	60	

(放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター)

放射線による健康不安等の各種相談対応、専門家派遣、研修会やセミナーの開催、線量測定等の支援を行っています

◆住民セミナー

- ・ 2/5-6 いわき市立平第一小学校
- ・ 2/6 福島県立福島工業高等学校
- ・ 2/7 伊達市立月舘学園小学校
- ・ 2/21 田村市立大越中学校



校内の放射量を測定 (2/7 月舘学園小学校)

◆車座意見交換会

- ・ 2/3 いわき地区の児童・生徒・保護者・教員



中間貯蔵施設の見学 (2/3 車座)



意見交換会の様子 (2/3 募集企画型車座ツアー)

(環境再生プラザ)

市町村や学校などに環境再生に関する情報の提供、専門家派遣・移動展示、地域とのコミュニケーションを推進しています

◆専門家派遣

〈小中学校など〉

- ・ 2/6 玉川村立玉川中学校
- ・ 2/15-16 相馬市立中村第一小学校
- ・ 2/26 二本松市立油井小学校



霧箱で放射線の飛跡観察 (2/15 中村第一小学校)

◆移動展示

- ・ 2/14 相馬市立中村第一小学校



担任による紙芝居読み聞かせ (2/14 中村第一小学校)